特集

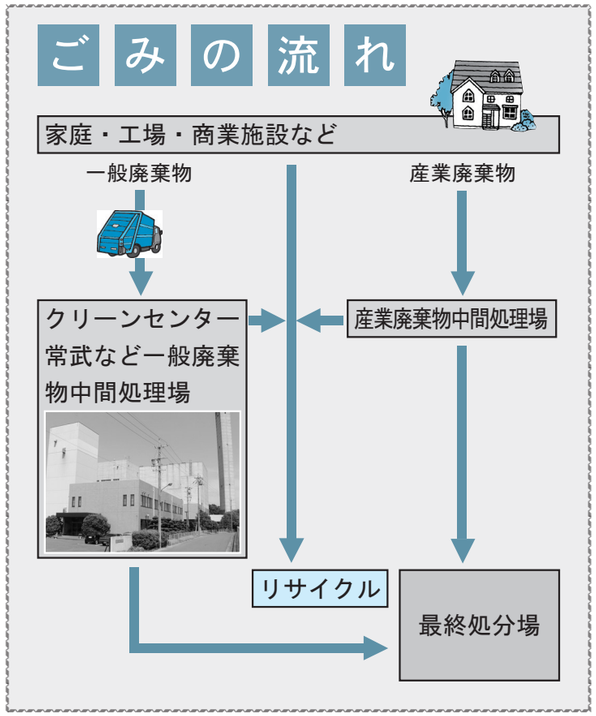
６月２日㈭、愛知県環境部廃棄物対策課から衣浦港３号地（旭硝子㈱愛知工場東）を広域最終処分場として確保したい旨の申し入れがありました。

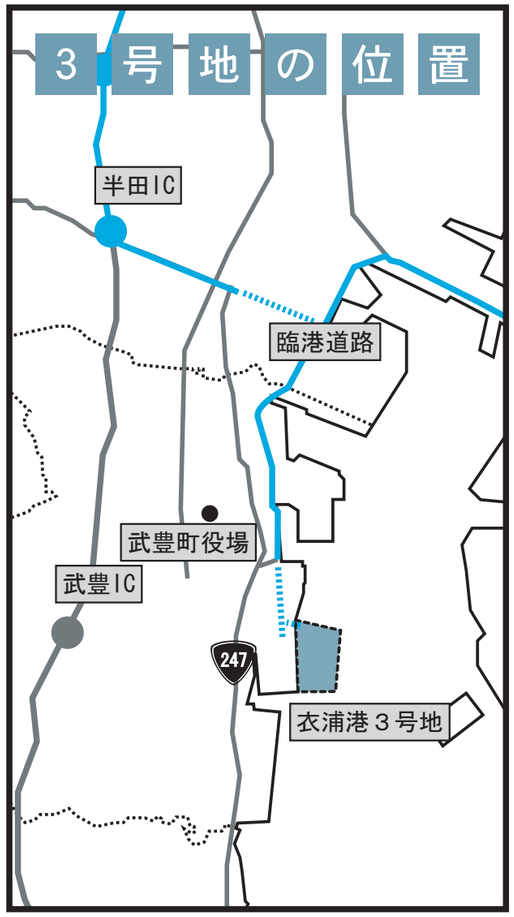
武豊町の環境を損なわないよう慎重に対処しなければならない重要な課題であると考えています。今回は、みなさんと情報を共有するため、県の提案内容と主な質疑応答をご紹介します。

衣浦港３号地に広域最終処分場計画

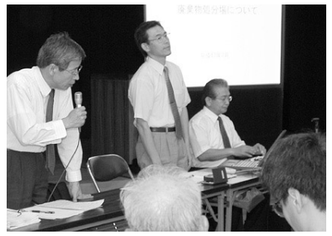
スケジュール

年度	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
環境アセスメント等法手続	←→					
建設工事				←→		
供用開始						→





県の考える構想



『最終処分場の残存容量が逼迫(ひっぱく)。県全体に影響が大きく早急に最終処分場を確保する必要がある。残余年数を考えると、平成22年度には供用開始したい。』
（愛知県廃棄物対策課）

県内の処分場の状況

現在、県内の廃棄物処分場の残余年数は、表1のとおり最終処分場が将来に渡って非常に逼迫した状況となっています。このため、産業活動や県民の生活環境への重大な影響が懸念されています。

県内の公共関与最終処分場の状況

廃棄物最終処分の不足に対応するため、現在、公共関与による最終処分場は県内に表2の三か所があります。

これら公共関与の最終処分場は、いずれも、十分な環境対策が採られていて、安全で安心できる処分場として評価されています。

しかし、これらの処分場の残存容量は、平成十四年度には二百六十一万㎥と少なくなっていて、今後三～五年で埋立が終了します。

愛知県としましては、安全な広域最終処分場を整備・運営していくには、今までの実績からも第三セクター方式が望ましいと考えています。

3号地計画

愛知県では、現在の状況を踏まえ、武豊町大字東大高地先の衣浦港三号地を広域最終処分場の候補地とした計画を立案しました。（表3）

表1　県内の最終処分場の埋立状況
（平成14年度末現在）

	平成14年度埋立量（A）	残存容量（B）	残余年数（B）÷（A）
産業廃棄物	124万m³	705万m³	5.7年
一般廃棄物	30.4万m³	316万m³	10.4年

※産業廃棄物については自社処分場を除く

表2　公共関与の最終処分場の概要

名称		(財)愛知臨海環境整備センター（アセック）	(財)衣浦港ポートアイランド環境事業センター（衣浦PI）	(財)豊田加茂環境整備公社
施設概要	設置場所	知多市新舞子地先	衣浦港2号地沖	豊田市御船町山ノ神
	面積	56.0ha	12.8ha	9.5ha
	容量	491万m³	98万m³	199万m³
	平成14残存容量	92万m³	45万m³	123万m³
廃棄物受入計画	受入期間	平成4年3月～平成22年3月	平成11年2月～平成21年3月※	平成4年4月～平成36年3月
	受入廃棄物	産業廃棄物 一般廃棄物	産業廃棄物 一般廃棄物	産業廃棄物 一般廃棄物
	受入地域 産業廃棄物	県内全域	衣浦港周辺5市4町	豊田市 三好町
	受入地域 一般廃棄物	尾張地域	衣浦港周辺10市8町	豊田市 三好町

※産業廃棄物については平成20年3月まで

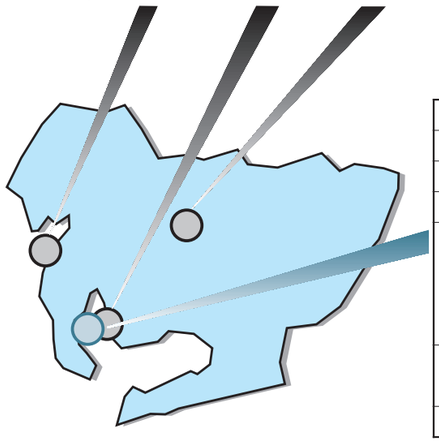


表3　広域最終処分場の概要

所在地	武豊町大字東大高地先（衣浦港3号地）
面積	約47ha
廃棄物埋立容量	約500万m³
埋立期間	実績によるが10～15年程度
埋立廃棄物の種類	産業廃棄物…ガラスくず、陶磁器くず、鉱さい、ダスト、汚泥（有機性汚泥を除く）、燃え殻 コンクリートガラなど
	一般廃棄物…焼却残渣など
排水処理施設	法に定める排水基準よりさらに厳しい自主管理基準を定め、それを達成できるだけの廃水処理施設を整備
跡地利用計画	工業用地（一部都市再開発用地）

住民説明会Q＆A

住民のみなさんに対して、７月18日から５回に渡って説明会が行われました。アクセス道路や環境問題など生活にどのような影響が出るのかということに質問が集中しました。詳細は武豊町ホームページをご覧ください。

総論

Q　なぜ、三号地なのか。候補地選定の理由は。

A　①十分な埋立容量を確保できる場所である②廃棄物を多く発生する尾張・知多地域に近く、交通の便が良い③埋立計画が衣浦港港湾計画に位置づけられているなどの理由で選定。

環境問題

Q　排水による海の水質への影響はどの程度か。

A　埋立処分場の排水による海の水質への影響は、環境影響評価法に基づく環境アセスメントの中で調査・予測していく。

Q　処分場の埋立が終了した後の水質管理は。

A　法に基づく廃止基準を満たすまで排水処理は継続する。

Q　悪臭や粉塵(じん)の影響が心配である。

A　水質同様、環境アセスメントの中で調査・予測していく。アセックの実施対策等を参考に対策を検討する。供用開始する際は事業主体と町で公害防止協定を結ぶ。

施設の安全対策

Q　遮水性や護岸の耐震性は十分か。

A　遮水シートは合成樹脂製で、完全に遮水できるものを用いる。護岸は、東海・東南海地震が起きても、廃棄物が流出することのない構造とする。

アクセス道路

Q　一日当たり二百～三百台が往復するアクセス道路は。

A　アクセス道路は、港湾計画に四車線で位置付けされている臨港道路の南伸整備を考えている。ただし、美浜町など南部からの搬入は、全体の一％程度と少ないことから国道二百四十七号線を考えている。

Q　臨港道路だけでなく町全体の交通に影響するのでは。

A　原則、国道二百四十七号線など生活道路を使用しない計画としている。運搬道路を指定し、違反すると受入禁止措置をとることになる。また、搬入がラッシュと重ならないよう対策を講ずる。

その他

Q　今後の住民に対する説明はどうなるのか。

A　計画はまだ素案の段階であり、環境アセスメントの中で調査・予測を行い、具体的な計画内容を「方法書」「準備書」で説明をし、住民のみなさんの意見を伺い事業に反映していく。

環境アセスメント…生活や自然環境に重大な影響を及ぼす可能性のある事業について予め調査等を実施し、影響を縮小する方法。環境影響評価法で規定
方法書…調査・予測する社会的・自然的項目とその方法を定めたもの
準備書…環境影響評価の結果について環境保全の見地から意見を聴くため、影響項目等についてまとめたもの
一般廃棄物…産業廃棄物以外の廃棄物
産業廃棄物…事業活動に伴って生じた燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類など
アセック・衣浦PI…公共関与最終処分場（P４参照）

問合せ
愛知県環境部廃棄物対策課
☎〇五二―九六一―二一一一
役場環境課